

第 17 回日本・中米「対話と協力」フォーラム
共同コミュニケ(仮訳)

2015 年 2 月 6 日, グアテマラ

1. 2015 年 2 月 6 日, グアテマラ・シティにて, 中米統合機構(以下「SICA」)諸国の外務次官等の各国代表及び SICA 事務局長, 高瀬寧日本国外務省中南米局長との間で第 17 回日本・中米「対話と協力」フォーラムが開催された。
2. 双方は, ドミニカ共和国の正加盟国として初めてとなる本フォーラムへの参加を歓迎した。
3. SICA 諸国と日本は, 日本・中米諸国間の外交関係樹立 80 周年を祝福するとともに, 双方の国民及び政府間に今日根付いている友情, 協力及び連帯の関係を確認した。
4. 同様に, 外交関係樹立 80 周年の枠組みにおいて各種交流事業を積極的に準備・実施することで一致した。また, 2015 年を「日・中米交流年」と定め, 同交流年を日・中米関係の更なる活性化のための契機とする決意を表明した。
5. SICA 諸国は, これまで日本が「東京宣言」及び「行動計画」に基づいて実施してきた二国間及び広域協力に対し謝意を表した。また, SICA 諸国は, 新たな行動計画の指針には, 経済統合, 社会統合, 民主主義の安定, リスク及び気候変動の統合的管理, 並びに機構強化を優先的分野として含め, 広域協力の管理, 調整及び情報に関するメカニズムに定める基本方針に従いつつ, 双方の協力関係を強化することへの関心を表明した。
6. SICA 諸国と日本は, 「第 2 回日・SICA ビジネスフォーラム」を 2015 年 5 月にグアテマラにおいて実施することを確認し, 中米における貿易関係, 投資及び観光の強化に資するよう, 同フォーラムへのより幅広く包括的な経済界の参加態勢を行う重要性を強調した。
7. 双方は, 2015 年における第 3 回日・中米首脳会合の実施に向けて引き続き取り組むことで一致し, 日・SICA 間の政治的対話, 協力及び経済・貿易関係を強化・活性化するために, 新たな宣言文書及び行動計画の策定に向けて共同で取り組むことで一致した。双方は, 新たな宣言文書及び行動計画策定のために, 日本, SICA 事務局, 並びに 2015 年の新旧 SICA 議長国であるグアテマラ及びエルサルバドルによって構成されるワーキンググループを創設することで一致した。
8. 双方は, 2005 年に署名された「東京宣言」及び「行動計画」の諸項目における対話と協力の進捗に満足の意を表した。
9. 日本は, SICA 諸国の経済的潜在性を強調しつつ, 中米地域の更なる社会経済的成長・発展に資するような中米地域における経済・貿易関係の継続的な強化・活性化への決意を表明した。
10. 双方は, 2015 年にフランス・パリで開催される COP21 において, 全ての国が参加する公平かつ実効的な新たな国際的枠組みに合意するため, 引き続き今後の気候変動の国際交渉に取り組むことを確認し, 積極的に貢献することで合意した。

11. 双方は、格差是正や貧困削減等においては、人間の安全保障が重要な概念であるとの認識の下、効果的なポスト 2015 年開発アジェンダの策定に向けて協力することの重要性を確認した。日本は、女性のエンパワーメントとジェンダー平等に向け、SICA 諸国を含む国際社会との協力及び支援を強化していくとの決意を表明し、SICA 諸国はこれを歓迎した。

12. 双方は、2015 年 3 月に仙台市で開催される第 3 回国連防災世界会議への積極的な参加と緊密な協力を確認した。

13. 日本は、地上デジタルテレビ放送日伯方式が、2013 年以降、コスタリカ、グアテマラ及びホンジュラスで採用されたことに対し満足の意を表した。日本は、同方式が各国の法制度に基づき、今後更に中米地域で普及・展開していくことへの期待を表明した。

14. 双方は、民主主義、人権や法の支配といった基本的価値を標榜する国際社会の責任ある構成国として、国際社会の平和と繁栄を推進していく決意を確認した。

15. 日本と SICA 諸国は、中米治安戦略(ESCA)の実施に向けて国際社会より受けた支援の重要性を強調した。この点に関し、日本に対して、プロジェクト継続のために、国際社会が SICA の枠組みにおいて実施してきた取り組みに加わるよう招請が行われた。

16. 双方は、軍縮・不拡散、テロ対策等の人類共通の課題により効果的に対応するため、国際場裡での協力を促進することで一致した。また、国連安全保障理事会の抜本的、統合的、包括的、効果的及び民主主義的な改革のために引き続き取り組む必要性を強調した。双方は、国連安全保障理事会が、国際社会における平和及び安全に対するあらゆる脅威に例外なく対処できるより効率的な機関となるよう、その代表性、実効性、透明性を向上させる必要性を強調した。特に、国連創設 70 周年である 2015 年において、具体的な成果を得られるよう連携を強化していくとの認識で一致した。

17. 双方は、2016 年に第 18 回日本・中米「対話と協力」フォーラムを日本で開催し、双方の関係の更なる強化を図ることで同意した。

18. SICA 諸国は、レバントにおいて ISIS を名乗るテログループにより二名の日本人が殺害された残念な事件に関し、日本への連帯を表明するとともに、テロに対する戦いにおける共通の約束を確認した。

19. 日本及び SICA 諸国は、本フォーラムの成功に貢献したホスト国グアテマラ政府の厚情に対し感謝の意を表した。

2015 年 2 月 6 日、グアテマラのグアテマラ・シティにおいて署名された。

(了)